



2010年3月7日(第135号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報:tk-koho@mxl.netwave.or.jp
生涯養成:yosei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

主な記事

- 2面 司教館の窓から、高松教区の兄弟姉妹たち、ひと、典礼奉仕
- 3面 若い力 諸委員会紹介
- 4面 医療のともしび、教区スケジュール 書籍紹介

小教区合同会議開催さる

教会のあり方で活発に意見

二〇一〇年一月三十日(土)高松教区主催の全小教区合同会議が、司教聖堂・四国カトリック会館を会場に、午後十二時三十分から四時まで開催された。この会議には、教区のほぼ全小教区から、担当(主任)司教、議長(信徒会長)、地区長またはモデラートルが参加した。開会の挨拶で事務局局長は次のように語った。「溝部司教が高松教区へ着座されて足掛け六年間に亘って取り組んで来た、教区の一一致と再生への取り組みへの承認であり、また協力態勢への強い意思表示と「思う」と。更に溝部司教は励ましの言葉の中で、「今日わたしたちはメタノイア(回心)に呼ばれている」と述べ、開会式は終始静かな聖霊の導きと照らしと慰めを祈り求める雰囲気にも包まれていた。

この会議企画は、昨年十月十八日(日)に開催予定だった「教区民の集い」に代わるものだった。ほぼ一年を掛けて教区民の集いを準備してきたが、新型インフルエンザ対策措置を理由にやむなく開催できなかった。しかし、

24小教区から代表者61名参集



し、司教評議会と宣教司牧評議会は、この一年間積み上げてきたことを生かすべく、小教区や地区で二〇〇九年発行の「司教書」を分かち合ってきたことをベースに、これからの教区方針を一緒に考えていくことで合意した。溝部司教の高松教区着座の目的が教区の一一致と再生にあったこと、そして目的達成のためにどうして通れなかった神学道筋が付けられたか、今後、一致と再生へ向かうために、高松教区はどう歩んでいけばよいかを、一人ひとりが真剣に祈りながら探っていくことが求められた。

「信仰」「共同体」「現実」考える

準備委員会は開催案内とともに、質問主題に「あなたはどんな教会を作りたいのですか?」を問い、付帯事項として①あなたの小教区の良いところは何か? ②あなたは教会のために何ができますか?と質問を投げかけた。参加者は小教区の代表者ではあるが、代表者としての答えではなく、あくまでも自分の回答を携えて当日の会議に参加した。

会議はまず「KJ法」を用いて、NICIE運動から導かれた「信仰、共同体、現実」の三本柱を生きた教会の姿を確認した。その後、六グループに分かれてワークショップを行った。各グループは「教会」を考えると、そこに「信仰」「共同体」「現実を直視すること」の一つでも欠ければ、どのような教会の姿になるか、シミュレーションした。参加者はプログラムを通して、これらの三本の柱がきちんと揃わなければ、キリストが望まれる教会とは程遠い姿を呈するようになると認識した。そして、全体会の中で活発な意見交換をした。事前に準備した自分の答と作業を通して気づかされた新たな答えを刷り合わせながら、教会とは何か、何故教会はあるのか、

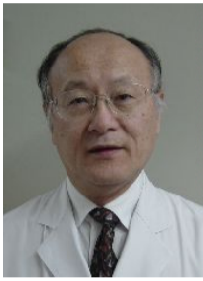
今後に向けて

これからの教区・小教区づくりを考える時、司教紋章に目を注ぎながらキリストの教会の意味とその意義、そしてその在り方について、一人ひとりが真剣に向き合うことをお願いしたい。

教区事務局長 西川康廣助祭

司祭年を記念して④

ドミニコ会カナダ管区司祭 聖マルチン病院院長 井原彰一



現代世界においてグローバル化が進む一方、他方ではそれぞれの民族の歴史・文化・宗教・経済産業構造・技術の進歩・人口問題・価値観の変化・環境問題などが複雑に絡み合っており、争い・差別・対立・貧困・搾取・不安・虐待が渦巻く人類の現実が隠しようもありません。このような時代だからこそ、神が御子を人類に遣わし、人類救済の業を始められた原点に返る必要があります。

主イエスは「私に従え、私はあなたたちを人をすなわける者にしてよ」と(マタイ四・十九)と仰って四人の弟子を召し出されました。次いで宣教に送り出すために十二人を決め、悪魔を追

い払う権威を与えられまし(マルコ三・十四・十五)。

私には病院の心療内科で患者さんの治療に携わっておりますが、精神療法・薬物療法・作業療法・理学療法などを通して治療してゆきます。精神療法は人が人生の道ゆきにおいて種々の問題や困難に直面して、悩み・苦しむ・傷ついてしまう心のあり方を分析し、癒しによって生きるエネルギーを再び取り戻そうとする営みであります。しかしながら、究極的な人間の存在・魂は心理療法や薬物療法、福祉の力だけでは救われません。根源的な救いは神の力・権威によらなければ得られないのです。

カウンセラーはクライエントが罪悪感から解放され、闇の中に光を見出すために、心の援助をする役割を担っておりますが、「あなたの罪を赦します」と言うことはありませんし、また出来ません。人が人の罪を赦すことは出来ないのです。神から来る力(キリストの十字架)によつてのみ、人はその罪が赦されるのです。

江ノ口教会 ヨセフ 山下精三

ステイプンス神父さんとの出逢いは、四万十市(旧中村市)への転勤からだった。それから高知に帰るまでの五年間、小さな中村教会でステイプンス神父さんに身近に接することができたのは幸いだった。

ミサでは、「御ことば」の時代背景を解説しながら、生き生きとしたイエズス様を再現された説教であった。また、聖堂にひざ

わたしが会った司祭

フィリピーナのお父さん

喜の叫び声を上げ、四方から神父さんの身体を叩き取りすがっていった。彼女達には、地獄で出逢った神様に他ならなかった。その歓喜の出会いを見守る私達は、神々しいオーラに包まれた素晴らしい光景を見た。

フィリピーナ達から、お父さんと慕われた神父さんは、帰天されてから既に十三年が過ぎる。しかし、私達の心の中に、神父さんはいつでも、蘇る存在であり続けている。

はばたき

カトリック新聞一月三日号一面に「カトリックの老人ホームに入りたい!」という記事があった。

それを補足しながら四国の状況を書いてみる。大衆にとって老人ホームは特別養護老人ホームか老人保健施設となる。その地域の住民しか受け入れられないホームもあるが、四国の特養は殆ど地域の限定はない。東京などでは一年単位でお待ち頂く事になります」とあるが、県庁所在地以外では月単位での待機でしょう。介護度三以上であれば、居宅介護支援事業所のケアマネージャーさんと親しくなり、日頃から訪問や通所の介護サービスを利用していけば、問題が生じた時にスムーズに施設利用につながるケースが多いようだ。

特養の利用料は、多床室(二〜四人部屋)は、年収八十万円以下の方で①介護サービス費(介護度四)の一割負担二万八千円、②食費一万二千円、③居住費一万円の合計約五万四千円(月)。

八十万円以上で市民税非課税の方で、各二万八千円、二万円、一円で六万円弱(月)。

それ以外の方は各二万八千円、四万二千円、五万円、一万円、八万円、九万円(月)です。

新しいユニット型個室だと個室費が徴収され、収入に応じて約六万五千円、十万円、十三万五千円以上です。

老健施設は五千円〜一万円割高になります。介護度が軽い方の入所には有料老人ホーム・グループホームが応えられる可能性がありそうです。しかし、経済的負担が大きい。

当初の命題に近づくには、百%介護保険に関わっていない高齢者施設しかないようです。高松教区にもそんな施設が一つでも欲しいですね。

高松教区の兄弟姉妹たち ⑧



ドミニコ会 神の母マリア修道会

説教者会(ドミニコ会)隠世修道院はスペインの聖ドミニコによって、1216年の説教者会創立(男子)に先立つ1206年、フランスのプリユに創立されたことに端を発しております。それは、聖ドミニコが、神のみに献身する観想修道女を、自分の「聖なる説教」に祈りと償いによって参加させるためでした。それから800余年、ドミニコ会の伝統の中で、隣れみ深い神のくすしき摂理によって、私たちは四国で観想生活を送る恵みをいただくことができました。

日本での最初のドミニコ会隠世修道院は1936年、ベルギーベトレム修道院から6名の修道女によって、盛岡に創立されました(盛岡口ザリオの聖母修道院)。



1957年、盛岡から名古屋教区に2番目の修道院、瀬戸聖ヨゼフ修道院が、1969年には会津若松に雪の聖母修道院が(現在は会津磐梯町)、そして1971年、三本松(現在は高松市香南町)に私たちの修道院が創立され、日本に4つの説教者会(ドミニコ会)観想修道院が誕生し、現在に至っております。

私たちの使命は、隠れて主を探し、主を思い、主に祈願することであり、従順の誓願(清貧、貞潔を含む)によって、自己を神に奉獻いたします。教皇制禁域の中で、祈り、労働、勉強、沈黙などによって共同生活を営みながら、生活の糧として製菓業にたずさわり、神への賛美、感謝、礼拝、償いのうちに人々の救いのために奉獻の日々を送っております。現在、会員12名、受付係1名、計13名です。

司教館の窓から 司教のひとりごと

桜町教会のステンドグラスが完成して、見事な佇まいとなった。うれしい次第だ。「クリスマスに小さき会堂のあわれなる」と詠った子規の句がある。細々と宣教を続けている宣教師の姿をあわれと感じているのだろう。聖堂のみ綺麗に

しても、寒々として人がいなければ悔めである。小さく問わず、その温もりを感じられるかが大切な事であろう。更に神様の息吹が感じられる聖堂にしていくには、どの様な工夫が必要なのだろうか。多分一番必要なのは、聖堂を訪れる人の信仰であろう。



ひと 徳島 阿南教会 渡部厚子さん



約二十年前、阿南教会に若いご夫婦がこられ、高齢者が多い中で、ひととき目立つた存在となりました。それが渡部さんです。率直で飾り気がなく、周囲の人々にすぐ溶け込み、物事に真剣に取り組む姿勢は共同体に大きな活力をくれたように思います。

上勝で有機農業を体験されたり、夫の焼き物の絵付けを手伝いながら、お二人のお子様を育ててこられました。元々、美的感性は鋭いものを持っておられ、夫君の創作活動に内助の功が多かったです。一方、地域で暮らしながら「村おこし」の活動に加わり、ゼロウェイストアカデミーのNPO会員としてゴミゼロ運動に携わったり、有機農業研究にも力をいれています。二〇〇〇年頃イギリス

これら活動が地域のみに認められ、二〇〇八年に上勝町の町会議員となり、二年目を終わろうとしています。現在、力を入れていることについて聞きました。「町全体の活性化とか人口増加、産業振興に努めているが、先のことを考えると、ポスト石油時代を如何に混乱なく迎えるか、その準備をしなければなりません。石油がなくなると、それに取ってかわるエネルギーはまず無いから、ローテクの時代となるのは間違いない。昔前の技術を継承しないと変化の時代をスムーズに乗り切れない。食糧輸入がなくなると、自国でトラクターを使わずに食糧生産しなくてはならない。そういう準備を各自自治体やっておかなければならないと思う。」とのこと。

神の導きに従われ、力強く歩む渡部厚子さんにエールを送ります。

文責(阿南教会 答島久子)

『典礼奉仕』のために ⑦ 高松教区典礼委員 稲毛利之師

「ミサの本当の豊かさとは？」

りでなく、政治経済を含めたこの現実を再生するのにもイエスとの人格的な「御付き合い」でしょう。典礼もそうでしょう。私たちの典礼奉仕、素晴らしい儀式の準備、賛美歌の練習、わかりやすい朗読やよい説教、信心深い所作や態度、細かい目配りや気遣い、助け合いなど、これらはどれも大切で不可欠なものです。しかし、これらはそれそのものが目的ではありません。「今日は素晴らしい御ミサでしたね。」「賛美歌が私たちの心を打ちましたね。今日、わたしたちは一つになりましたね。」「今日の説教は良かったですね。」これらだけでは不十分なのです。ルカによる福音書二十四章によると、「エマオへの道中」で二人の弟子が、みことばとパン裂きによって目が開かれ、一緒にいたその人が

イエスだと分かりました。聖書に基づくイエスの説明(みことば)と、イエスの典礼行為(パン裂き)こそ、復活したイエスと出会う鍵だと、言われています。典礼において、復活されたイエスと人格的に出合い、このイエスとの関わりの中に入る、これが私たちの典礼が目指すところです。聖パウロはフィリピの信徒へ呼びかけます。「わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりの素晴らしさに、今では他の一切を損失とみています。」イエスに出会ったその後、二人の弟子たちは今しがた逃げて来たエルサレムへと時を移さず戻っていきま。宣教するために！イエスそのものを伝えるために！私たちがそうであるはず。私たちの現実、社会、時には逃げ出してしまいたくなるでしょう。しかし、その逃げ出して来た同じ現実の中に戻っていくのです。イエスに出会って！そして、その現実を再生させるのです。刷新するのです。これがミサの本当の豊かさです。

ちよつとき ひととき

聖堂で 祈るべしに 春の風
十字架の 瓦をよぎる 春の風
右近像に 春の光を あびて立つ

春蘭(じゅらん)
小豆島教会 松本初枝



- 2010年度教区辞令 2010年4月1日付 新任担当 (前任)**
- 池田義高 番町教会協力司祭 (聖母学園理事長)
 - 村上康助 三本松教会担当司祭、聖母学園理事長 (普通寺教会)
 - ウィリアム・ネルソン 普通寺教会担当司祭、幼稚園園長 (三本松教会)
 - 谷口広海 (終身助祭・6月叙階予定)
三本松教会管理者、長尾聖母幼稚園副園長 (司教館)
 - 岩崎 武 八幡浜教会担当司祭 (西条教会、新居浜教会)
 - ホルヘ・ソーサ 桜町教会協力司祭、司教館管理者 (八幡浜教会、宇和島教会)
 - 田中正史 宇和島教会担当司祭、幼稚園園長 (聖ヨゼフ修道院)
 - 川上栄治 道後教会担当司祭
 - 稲毛利之 西条教会担当司祭 (小豆島教会)
 - デシレリオ・カンバラ 小豆島教会担当司祭 (桜町教会)
 - ペドロ・ユ・チョンピル 新居浜教会担当司祭 (今治教会助任)
 - ロファンディ・ザヒャ 一時帰国 (郡中教会)
 - サトルニノ・ゴンザレス 松山地区協力司祭 (道後教会、松山地区協力)

内科 胃腸科 循環器科 放射線科
医療法人 翼医院
高松市茜町16-12
TEL087-837-5800

選任式
司式 溝部脩司教
日時 3月31日(水) 11時
場所 桜町司教座聖堂
受任者 祭壇奉仕者 使徒ヨハネ 谷口広海

自分の信仰生活は、とても不思議な出会いからはじまりました。はじめて教会に行ったのは、生きる意味を問われているほど悩んでいる時でした。自分なんかなくてもこの世界は回っているし、いなくていいと思い、引きこもりをしてしまいました。そんなある日、友だちが心配をしてくれて、外に連れ出してくれました。そして、何も考えないで道を歩いていて迷い、困ってしまったときに、偶然カトリック松山教会という文字が目に入りました。しかし最初は神様なんていないんだ、いたら辛い思いなんてさせないはずだと思い通りすぎました。しかし教会に行きたいという気持ちが湧いてきました。行っていいのかわかりながらも、いつの間にか教会の前に来ていました。そして誰かに背中を押されるかのようにすんなり

私の背を押してくれた神様



入れました。受け付けに「ミサに出ていいですか」と聞きに行くと、受け付けの平岡さんが「ミサまで時間があるから話さない」と、中に招いてくれました。そのときの感動はいまだに忘れません。自分みたいな人間と話してくれる人がいるんだと。それから悩みを聞いてもらい、ミサに出て帰りました。そして2日ぐらいたったある日、平岡さんから要理勉強をしてみないかと電話があり、はじめることを決めました。要理勉強をして洗礼を受けてからの人生は、色々なことがあるけれど、幸せいっぱいです(笑) 神様ありがとう。

はじめ
松山教会 門田 啓

若い力

青少年委員会より

最近の青少年委員会では、集った委員でテーマごとに分かち合いをしています。今回は「家庭で信仰を伝えること」についてでした。番町教会の河合良治氏より、1. 受けたもの(伝えられたもの)、2. 伝えたい(伝わった)もの、3. 信仰を伝える喜び・難しさ、4. これから…、主にこの四点について話していただきました。次世代に信仰を伝えることは、特別に何かをすることによって伝わっていくのではなく、平凡な日常生活の営みから(例: 家族全員が集まる食事や団らん)、自然に伝わっていくものなんだということに気付かされました。

クリスマス会 2009年12月23日四国カトリック会館で、中学生から青年を対象にしたクリスマス会を開催した。約80名が参加。クリスマスの思い出や意味について分かち合った後、桜町教会の子どもたちの聖劇を鑑賞。昼食は司教様やシスター方が用意してくださった手作



りの料理をいただいた。午後は各地で用意した出しものを披露し、音楽の演奏も充実してきた。最後にキャンドルサービスで締めくくった。終始参加者の笑顔が絶えず、とてもあたたかな充実したクリスマス会となった。

青年&高校生の集い

1月23日~24日、高知県「ほっと平山」で開催された集いに計18名が参加した。テーマは「一番大切なこと」。社会や学校で何を一番大切にしているか、その中で神さまとの関わりはどうか、など4人のパネラー(青年)に話してもらい、聴いたことを分かち合った。最後にミサの中で、神父様方にまとめのお話をしていただいた。パネラーの話や分かち合いの中で、青年や高校生たちの深いとらえ方にとっても感心し、彼らの霊的な成長を実感した。スポーツや餅つきも行い、有意義なひとときだった。



「人権を考える」委員会
二〇〇七年一月高松教区「人権を考える」委員会が発足し、今年活動四年目を迎えました。現在、委員長口サイロ・ブラッドリー神父と十一名の委員で構成されています。

高松教区では「社会司教委員会」の四部会「難民移住移動者委員会」、「カリタスジャパン」、「正義と平和協議会」、「部落問題委員会」の内容を扱う委員会として立ち上げていますが、四部会の働きを十分に把握できるように担当者を置き、全ての事柄について全員で関わる方法を探っています。

1. 外国人司牧
さしあつたりの急務は「外国人司牧」です。その数は教区の信徒数と殆ど変わらない約四五〇〇名程度と考えられます。彼らに各小教区の情報をどう提供できるか方法を探っています。二〇〇八年に教会に関わっている外国人に生活状況についてのアンケートを採ったところ、いちばんの問題は、医療、法律、仕事関係、子供の学校等で言語がネッ

2. 平和
戦争、暴力、対立、分裂が耐えない世界であるからこそ平和への関心を育てる必要を感じます。そのためにまず八月六日から十五日までの「平和旬間」の充実を努めています。教区を挙げて「祈りのリレー」、「平和を祈るミサ」、他のグループ主催の「広島平和行進」、「歌って、踊って平和を語ろう」、「平和音楽会」などの応援に多くの教区民の参加を呼び掛けている。念願だった「沖繩平和巡礼」も実現しました。

3. カリタス
国際カリタス(カリタスII)「愛」を母体としたカリタスジャパンは、現在日本全国の全教区で活動しています。二〇〇九年十一月九日創立四十周年を記念して「全日本カリタス・教区担当者セミナー」(菊池功責任司教・幸田和生担当司教)が開催さ

ように励まされました。国内での活動としては①援助活動(愛の献金・災害援助)②緊急援助、長期援助③社会福祉プロジェクト(福祉セミナー・十年度「自死と孤立」)等があります。同年十一月二十一日、四国カトリック会館でも「カリタスジャパン」事務局長田所氏と秘書の成井神父とによるワークショップが行われました。教区全地区から司祭、シスター、信徒二十名ほどの参加を得て「カリタス」の使命について、勉強会をしました。ハイチ大地震が起りましたが、カトリック教会のある所には必ず「カリタス」も存在しています。「カリタスジャパン」が集める募金は直ちに現地の「カリタス」を通して確実な援助に繋がっています。四旬節に入りました。小冊子「つなぐ二〇一〇」を祈りと黙想に役立てながら、私たちの愛の証である「四旬節の愛の献金」を、貧しく苦しい生活を余儀なくされている方々に回心の心を持ってお捧げしたいものです。

高松教区の「人権を考える」委員会」の活動は地味なものです。少しでもよい良い世界造りに貢献できるなら、イエスのことばどおり、自分のためではなく人のために生きるようになるでしょう。

道後で宣教始める
道後教会献堂五〇周年の記念誌に、四百数十年前に道後で宣教したパトリック・パウロ・ナバロ神父のことを載せたのだが、神父が伴天連追放令で長崎へ逃れてから後のことを私はうかつにも知らなかった。その後、溝部司教様からお教えいただき、ナバロ神父が道後を離れた後、九州を中心に信徒のために働き、捕われ、殉教し、福者に列せられたことがわかったのだ。それ以来ずっと神父が捕われ殉教した島原へ行って神父の生きざまをしりたい、そんな思いがつのつていた。

島原半島巡礼の旅
長崎の諫早から島原鉄道に乗り、有明海を見ながら約一時間走りやっ

福者 ナバロ神父をしる
島鉄本社前という駅で降り、北へ少し歩いて左へ曲がると八角形ドームを持つ『島原半島殉教者記念聖堂』があった。

30 数人受洗の恵み受ける
バロ神父は一五六〇年イタリアのナポリ生まれ、十八歳の時イエズス会入会、一五八六年八月に日本の土を踏んだ。翌年二月道後へ派遣され、宣教師としての仕事が始まった。ナバロ神父二十七歳だった。

しかし半年後のある日、秀吉の伴天連追放令が出た。逃れようとする神父たちに略奪者の群れが襲いかかった。刀を持った暴徒に囲まれた時、世話をしていた地元のキリシタンたちは恐怖ですべて逃げ去ったが、庇護者であったシモン田原親虎だけは最後まで司祭たちを守ったという。神父たちはほとんど着の身着のままやっつと津浜から船に乗り長崎の平戸へ逃れた。この半年間で三十数人が受洗。これが道後での実りだった。

殉教者を記念する島原カトリック教会の聖堂に入ると、ステンドグラスや踏み絵のレリーフなどがあり、ナバロ神父ら島原で信仰を守った殉教者たちの思いが迫ってきた。



八角形のドームを持つ『島原半島殉教者記念聖堂』
道後教会 丸尾 修

医療法人社団聖心会 阪本病院

看護師・准看護師 随時募集中です！

ご連絡をお待ちしています。

※院内保育園開設 (今年3月頃)

連絡先(事務局) 0120-770-315

聖マルチン病院

薬剤師・看護師 (募集) 随時募集しています。

聖マルチン病院で 専門職を 発揮しませんか

下記に ご連絡ください。(総務課) 0877-46-5195

家庭祭壇 祈りと安らぎの空間

家族揃って祈れる場所が ご家庭におありでしょうか?

8.5万円~各種取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。カタログを無料にて郵送致します

TEL 0972-63-4187 担当: ローザ平林美穂子

T: 675-0041 大分県臼杵市豊原町三線 山本鳳凰堂

私たちは、自分を創造しようとするこどもを まなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

医療のともしび (19) 食中毒に注意

え・冬場に食中毒!と思われる方があると思われ
ますが、夏だけではなく冬にも結構食中毒による下痢
や嘔吐、腹痛が発生します。その代表がノロウイルス
感染に由来する感染性胃腸炎です。宴会の後や学校、
病院などで集団発生することもよくあります。原因は
ノロウイルスに汚染された「かき、さしみ」等の魚介
類を生で食べることで、感染した人の便や吐物に触れ
て感染することもあります。私どもの病院でも、ある
グループが新年会をやった翌日、何人がかひどい下痢
をして点滴を受けた人もいます。このときはやはり
「酢がき」が出たそうです。ウイルス検査まではしま
せんでしたが、恐らくノロウイルスによる感染性胃腸
炎だろうと言うことになりました。

この胃腸炎は感染した人の吐物や便に触れ、消毒や
手洗いが不十分で二次的に発生することも良くありま
す。家族内はもちろんです。病院や老健施設で、いわ
ゆる人から人へ感染が広がって行く事がよくあります。
患者さんとの接触、吐物や下痢便に触れ、手洗いや汚
物処理が不完全だとウイルスに感染します。発症まで
に大体2、3日の潜伏期があり、その後嘔吐や腹痛、

下痢が突然おこります。下痢は1日に10回以上とい
うものもあります。熱が出る事は殆どありません。人
から人に感染する場合は、患者さんの便や吐物が経口
的に入って発症するので手洗いが最も重要です。床や
ベッド柵、便座、衣服、布団などに吐物や便がついた
場合、直接手で触るのではなく必ず手袋をして処理し
てください。汚染物を処理する場合はビニールのエプ
ロンをし、手袋、マスクの着用、そして最後に徹底し
た手洗いが大切です。

このウイルスは熱に弱いので食べ物は加熱して食べ
れば問題ありません。衣服や布団についたものは0.1%
の次亜塩素酸(市販されているハイター)に1時間程
度浸漬すれば他の細菌も含めて殺滅できます。ベッド
柵や便座、床に着いたものは0.1%の次亜鉛素酸を染み
込ませたペーパータオル、布等で外側から内側に向け
て拭き上げる。使用したペーパータオル等はすぐにビ
ニール袋に入れ感染性廃棄物として捨てる。なお床に
限っては、先に次亜塩素酸の原液を降りかけ、後でペ
ーパータオルや布で拭き上げることもあります。手洗
いは石鹸をつけて丁寧に洗い水道水で流してください。

今は新型インフルエンザが問題となっていますが食
中毒のことも忘れないようにしてください。

愛媛労災病院 篠崎文彦

祈りのうちにストラ作り

「桜町教会手芸クラブ」メンバー



司祭年を記念するための感謝のシ
ンボルとして、司教座聖堂用ストラ
ン、司祭用十本、助祭用二本、計十二本
が、今回「女性の視点から教会を考
える委員会」の依頼によって、桜町
教会手芸クラブのメンバーの奉仕と
他地区委員方の祈りや献金などに
り完成しました。これらのストラは
三月三十一日の聖香油ミサで、初め
て着用されます。



日本二十六聖人巡礼ウォーク 西坂へ到着

九年に及ぶ、京都から長崎への巡礼が
終わった。

一月十六、十七日の二日間を明け、佐
賀県武雄から長崎県東彼杵へと歩を進め、
二十六聖人の一行が、大村湾を渡るため
乗船した場所である彼杵川河口に到着し
た。大村湾は、鏡のように静かに凪いだ
海で、四百年前もこ
のような海であった
かと思うと、旅の終
わりが近づいたこと
が実感され、非常に
感動した。二十六聖
人乗船場跡記念碑の
前で祈り、最終回へ
とつなげた。

二月六、七日、十
八名が桜町教会を出
発、バスで長崎へと
向かった。予定より
も早く長崎県に入る
ことができたため、
前日終着点の乗船
記念碑に立ち寄り
祈りを捧げた後、再
びバスで二十六聖
人陸記念碑のある
時津を目指した。最
終の出発点である
時津では、この巡
礼の前半にナビゲ
ーターとして活躍
した小川洋氏と合流
し、祈念碑の前で
祈りを捧げた。西
坂へ向け巡礼を始
めた。翌七日、初
日は浦上天堂まで
とし、翌七日、

京都から長崎へ 聖人の足跡をたどる



西坂殉教地
二十六聖人レリーフ前で祈りを捧げる

西坂に向け最後の四キロメートルほどを
巡礼した。一時間余りで西坂に到着、二
十六聖人のレリーフ前で祈りを捧げ長い
旅が終わった。
我々は、二十六聖人が、一五九七年一
月九日から二月五日まで祈りとともに歩
いた道のりを、九日間六十八日をかけて
辿ったことに
なる。
一回あたり
十数キロ、しつ
かりとした靴
を履き、冬に
は防寒着を着
込み、随所に
あるコンビニ
や自動販売機
で水分を補給
することがで
きたという面
では聖人達に
比べ、はるかに
「楽な旅」だ
らう。しかし、
これだけの期
間続けるため
には、参加者
それぞれが何
かしら犠牲に
し、また、お
互いに支え合
って来たと思
う。そして、
それぞれに祈
りながら黙
々と歩くうち
、聖人達が神
に全てをゆ
だねた心にな
る。それがな
らうか。

桜町教会 長谷川 聖



二月七日、西坂へ向け出発
浦上天堂下にて

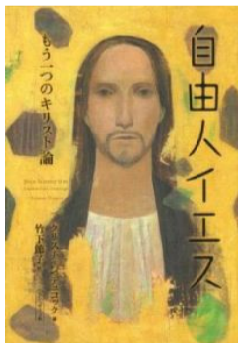
教区スケジュール

- 3月
2日(火) 司祭評議会 10:00
6日~7日(土~日)
拡大宣教司牧評議会(徳島) 13:00受付
7日(日) 四旬節第3主日
13日(土) 女性委員会
14日(日) 四旬節第4主日
17日(水) 長崎信徒発見記念日
19日(金) 聖ヨセフ
21日(日) 四旬節第5主日 春分の日
22日(月) 振替休日
24日(水) 生涯養成委員会 13:15
25日(木) 神のお告げ
28日(日) 受難の主日(枝の主日) 世界青年の日
31日(水) 聖香油ミサ 11:00

- 4月
1日(木) 聖木曜日
2日(金) 聖金曜日(大斎・小斎) 「聖地献金」
3日(土) 聖土曜日
4日(日) 復活の主日
11日(日) 復活第2主日
17日~18日(土~日)
生涯養成委員会主催
一日黙想会inマリアの家
18日(日) 復活第3主日
24日~25日(土~日)
子ども&高校生の集いin松山
25日(日) 復活第4主日「世界召命祈願の日」
28日(水) 生涯養成委員会 13:15
29日(木) 昭和の日 シエナの聖カタリナ

新刊書籍紹介

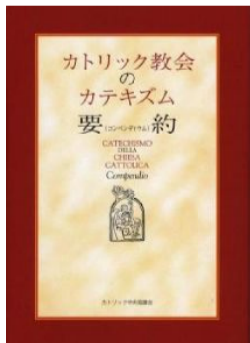
■自由人イエス「もう1つのキリスト論」



イエスが同時代の人々からどのように見られていたか、また、イエスご自身は自分をどのように考えておられたか、ということ、歴史的イエス像を見ることによって、魅力的に私たちに紹介しています。

著者：クリスチャン・デュコック
訳者：竹下節子
定価：1,890円(本体1,800円+税)
四六判並製 237ページ
発行：ドン・ホスコ社

■カトリック教会のカテキズム



「カトリック教会のカテキズム」の「忠実かつ確実な要約」である本書は教会における勉強会、求道者向けの勉強会のテキストとして、又カトリック学校における宗教の時間の読本としても最適です。

定価：1260円(税込)
B6判 並製 352ページ
発行：カトリック中央協議会

書籍のお求めは
松山教会マリア書院、桜町教会書院へどうぞ

読者からの便り
カトリック教区報一月一日号を読み司教様たちがプロ野球、しかも阪神について話を交わしているの知り驚いていました。多分キリスト教の事はかた話されているとばかり思っていたからです。これから色々な記事を私たち信者に知らせて下さい。

編集後記
新年もいつの間にか弥生。時の流れに付いていくのに一杯です。
広報についてのご意見ご希望など、どしどしお寄せ下さい。



「イースターテアトロ」
【三月二十八日(日)】
午後一時・桜町司教座聖堂
桜町教会学校の子供達による受難劇が、今年もまた上演されます。
奮ってご来場ください。
オペラ
「忘れられた少年」
愛媛公演
【五月十九日・二十日(土・日)】
松山市コミュニティセンター
カメラリアホール

住まいの水廻り専門店
ガオロ設備株式会社
〒761-0102 高松市新田町甲469番6
☎(087)-841-5310(代) FAX(087)-843-7290